

様式 2

平成25年度第1回文化財保護審議会 会議概要

- 1 審議会名 平成25年度第1回文化財保護審議会（文化財調査委員会と合同で開催）
- 2 日 時 平成26年3月25日（火） 午前1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場 明科総合支所 会議室3
- 4 出席者 文化財保護審議会 百瀬（宗）会長、石田委員、飯沼委員、梅干野委員、百瀬（新）委員、文化財調査委員会 西牧会長、下田委員、伊藤委員、高松委員、中田委員、降旗委員、久津間委員、山口委員、池上委員、山越委員
- 5 市側出席者 教育長 須澤眞廣、教育次長 北條英明、文化課長 三澤良彦、文化財保護係 係長 山下泰永、文化財保護係 土屋和章
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人0人 記者0人
- 8 会議概要作成年月日 平成26年3月31日

協 議 事 項 等

1. 会議の概要

開会、あいさつ

報告事項

- (1) 平成25年度文化財保護事業報告
- (2) その他

審議事項

- (1) 文化財パトロールの実施結果報告

提案事項

- (1) 文化財保護審議委員、文化財調査委員からの提案事項

その他

閉会

2. 報告事項

- (1) ～ (2)

■平成25年度文化財保護事業（文化財パトロール、民家調査、古文書等の調査、天然記念物・希少野生動植物保護、市所有文化財の維持・管理、指定文化財以外の史跡等の標柱建て替え、文化財保護事業補助金、豊科郷土博物館事業、文化財資料センター事業、埋蔵文化財発掘調査事業等）について事務局から概要説明。（事務局）

3. 審議事項

- (1)

■旧仏法寺の木造阿弥陀如来坐像

堂には人がいないが、まわりの隣組の皆さんが気をかけてくれていて、老人クラブが年に2回掃除をする。平成3年に新しく立て直した建物の中にあるので問題ない。両腕が破損していて本体から離れている状況なので修理が必要かと思う。隣にあった観音菩薩が平成23年に盗難にあい、それから防犯灯と鍵をつけた。（調査委員）

■吉野熊野権現神社のビャクシン並びにツルマサキ

熊井家の氏神様の社のすぐ後ろにあり、幹のほうは全部枯れていて、その1本はツルマサキが幹の中に入って枯らしてしまった。先日的大雪で心配したが、鉄柱の支柱がたくさん支えており、枝は折れていなく安心した。近くに住む樹木医にみてもらったところ、肥料をやったほうがいい、ツルマサキのほうは非常に勢いがあり、枝がどんどん伸びているので切ったほうがよいなど所有者にアドバイスをいただいたとのこと。（調査委員）

■有明山神社の神楽殿の小組格天井板絵

普段自由に見られないが、パトロールで見せていただいた。保存状態は非常に良いが、環境面で森の奥深くにあるので、将来建物自体への倒木などの心配がある。先日、賽銭泥棒に入口を壊された。普段宮司がいるが防犯カメラをつけるか検討していたが、それも逆に危ないのではと見送った。合併してから、旧穂高町文化財指定と安曇野市の表示板が並んでいるのが気になる。(調査委員)

■新屋諏訪神社の神楽殿

江戸時代中期に造られた神楽殿で、境内がかなり広い中、神楽殿を中心に境内内部はかなり整備が行き届いていて、風通しもよく木造だが建物自体は目立った傷みはない。小屋梁、桁の仕口の一ヶ所で雨漏りの可能性がある。屋根の具合等確認が必要かと思う。防災・防犯については屋外にあるため何かできる状態ではない。屋外の消火栓は見当たらなかったが、近場に設備の設置等の検討課題かと思う。消防の侵入路は問題ない。神楽殿には両サイドに太夫座というお囃子が並ぶ出張ったところがあるが、それが乗ると壊れそうで危険だった。(調査委員)

■南小倉のシダレヒガンの巨木

過去に雷が落ち、裂けてそこから傷んでしまっていて、強風などによる倒壊が心配である。水路を根の近くに持ってくるということで、かなり慎重にやった。幸い根に影響はなかった。天然記念物の場合もそうだが、指定を解除するということがあるのかないのか。そういうことも考えていかなくてはと思う。(調査委員)

■平福寺 仏画等

仏画：風通しは良いが、湿気の被害を受けやすい。それぞれに三郷村指定の札が現在つけられているので、そのこと自体は歴史を感じるわけだが、市指定を並んでつけるか付け替えるのかの課題はここだけではないと思う。

絵馬「千疋馬」：絵の表面は非常に劣化が進み判別が難しい。

唐絵（風神図）：色がかなり落ち劣化している。ガラスケースに入っていて風雨にはさらされないが、劣化については気になる。

俳句懸額：年代に間違いがあるのではと思う。寛延3年は平福寺観音ご開帳の年、それに併せて俳句を懸額したのでないか。専門家による年代の特定が必要でないか。

観音堂：内陣は周囲を囲まれ保護状態は良好だが、外陣は風雨にさらされた時期があり、現在は周囲にはね上げ式の板戸が設置されたが、普段は開けられているので絵馬等の劣化は進んでいる。(調査委員)

■青柳家の旧松本城大手門

屋根や雨樋に溜まった枯葉などの掃除は業者に依頼している。市へ修理をしたいと相談し、安曇野市と松本市と業者で確認をした。瓦がかけて雨漏りのひどいところを応急処置した。今後どのようにしたらよいか。(調査委員)

■下堀扇町諏訪神社 神鏡（彫刻）

年4回の祭礼以外は開放されていないためか、彫刻部分鏡面には傷や虫食いは見られず比較的きれいである。消火器が拝殿内にあるが、これで十分なのか心配である。(調査委員)

■泉福寺の薬師堂

明科が一番問題だと思い、最初にパトロールをした。天井の雨漏り、虫による穴、小鳥が自由に入り、壁にはこぶし大の穴が開き全体に荒れている。日光菩薩はほこりにまみれ、月光菩薩は木片状で傷みが激しく痛ましい。防災状況だが、薬師堂は高い所にあり、まわり道は整備されておらず、石段を上がるしかない。消火栓はあるがどうやって使うのか？消防車が入れないので消防活動は困難と思われる。重い引き戸でもおもしろい開けるとい状態なので、よくないのではと話してきた。以前、本堂は檀家300軒の寄付で修理をしたが、薬師

堂までは手がまわらなかった。住職は修理を強く希望しているが費用がない。(調査委員)

■平の毘沙門堂 木造毘沙門天立像

四賀へ行く途中にある113cmの木像で、以前両脇にあった像が盗難にあったので、鉄格子に入っている。正面に虫穴があり、少しかけ落ちたところがある。消防車が入れるように道は整備されているので、消火活動はできる。(調査委員)

■青柳家の松本城大手門について名称変更をしたほうがよいのではないか。(調査委員)

→修理についてどうするのかと併せて、平成26年度から調査と修理方針の作成を行う。松本城大手門として使用されていたかどうかも含めて調査していきたい。(事務局)

■吉野のビヤクシンだが、放っておくとツルマサキがどんどん勢いを増すと思うがどうするか。(調査委員)

加えて、天然記念物の樹木の場合、維持管理が大変難しいが、市でみてもらう計画はないか。(審議委員)
→問題のあるところから、樹木医にみてもらいたい。(事務局)

■消火器の設置がないところもあるが、消火・防災設備については市でみてもらえるか。(審議委員)

→防災設備等の設置については、補助金の対象である。今回、調査委員に調べていただいたことは順序だてて確認したい。今回のパトロールで問題が見つけれられてよかった。来年度も、継続してパトロールをお願いしたい。(事務局)

4. 提案事項

(1)

■天然記念物は合併して旧町村をそのまま引き継いでいるが、サクラが多いが、クヌギやハンノキは安曇野にとってとても大事である。外来種の問題も含めて在来種の保護対策をどうやって考えていくか?指定について、他市町村はどのようにしているのかなど、情報を集めて目を広くして規定の方針を示してほしい。(審議委員)

→現状の問題と対策案をまとめて提出してはどうか。(審議委員)

■明科北村遺跡出土の人骨を含む遺物について

北村遺跡から発掘された300を越える人骨は、人類学や医学的分析からも大きな成果を得られ、高校の教科書に載るほどの歴史的発見だった。近年、富山県小竹貝塚から人骨が90体ほど発掘されて話題になっている。新市博物館構想が具体化しようとしている今、県立歴史館に収蔵しているのがいいのか。とても重要な資料なので、県教委・歴史館と協議をして資料移管や文化財指定に向けての対応を要望したい。(審議委員)

→人骨以外にも土器なども含めて文化財指定について、ぜひ考えていただきたい。(調査委員)

■堀金岩原安楽寺跡周辺の史跡指定と整備について

堀金岩原地区には、旧跡や名所が集中しており、礎石や石垣が残っているが、当時の様子がわかるものは少ない。堀金村教委と堀金郷土史研究会の調査等の記録は残されており、復元の資料となる。また、平成27年度オープン予定の国営公園に隣接しており、公園の整備と一緒に整備するチャンスではないかと思う。田園や里山の自然が残るすばらしい景観は安曇野市の宝であり、貴重な観光資源だと考える。(審議委員)

→しゃくなげ荘の整備もあり、子どもや都会の人が山村を歩いて、国営公園、しゃくなげ荘、堀金地区と一体で里山の観光資源と考えていけばどうか。(調査委員)

→オオルリシジミ、クララなど岩原・牧地区は安曇野本来の里山の自然がとても豊かである。その辺の動植物のほごも考慮していかなくてはならない。(審議委員)

→周辺の整備事業などが始まってしまうと、ストップできない状況になってしまう。ここ1~2年で方向性を示す必要があるのではないか。(審議委員)

■安曇野市内の神社にある狛犬のうち、三郷及木伍社宮の獅子山、穂高神社若宮社の狛犬の2件について、今後の文化財指定を視野に調査検討をお願いしたい。(調査委員)
→次回以降に検討していきたい(事務局)